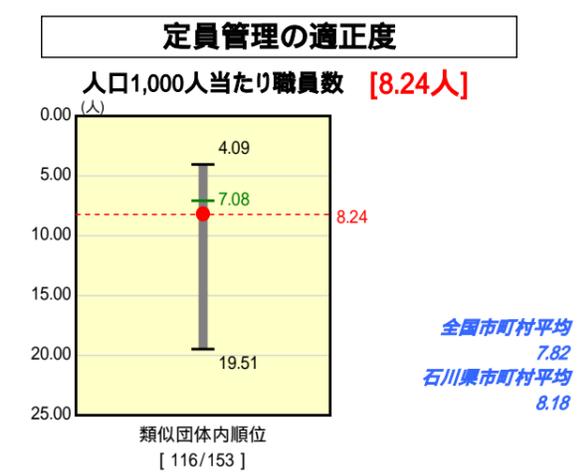
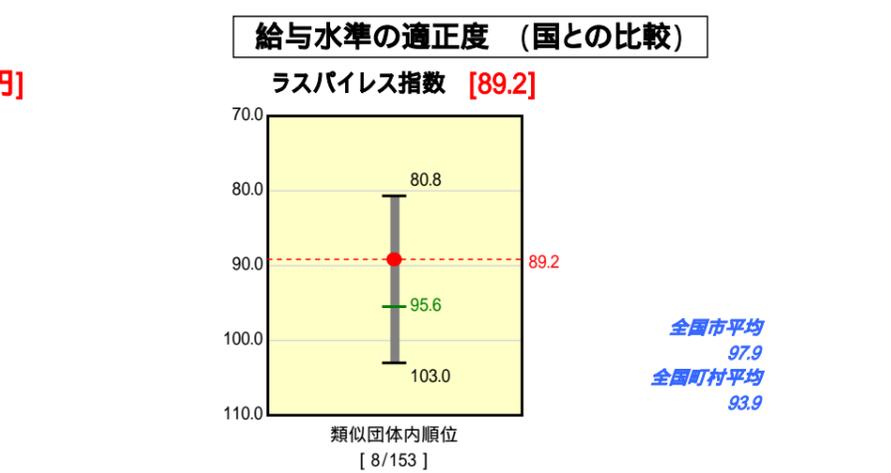
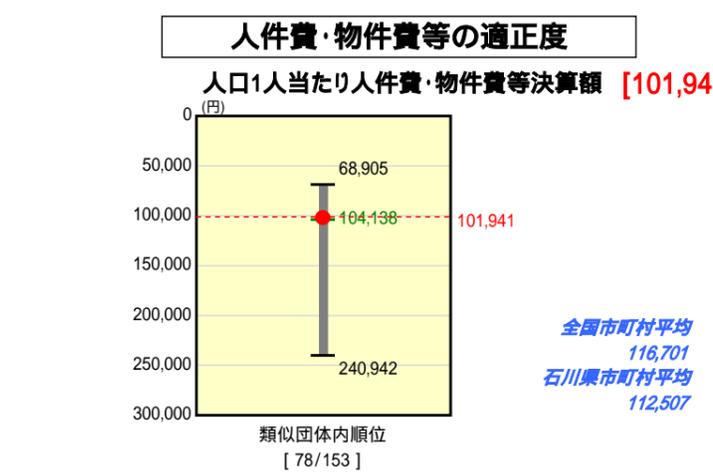
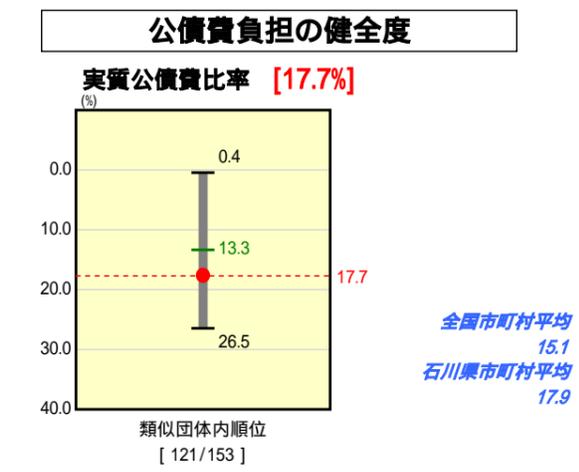
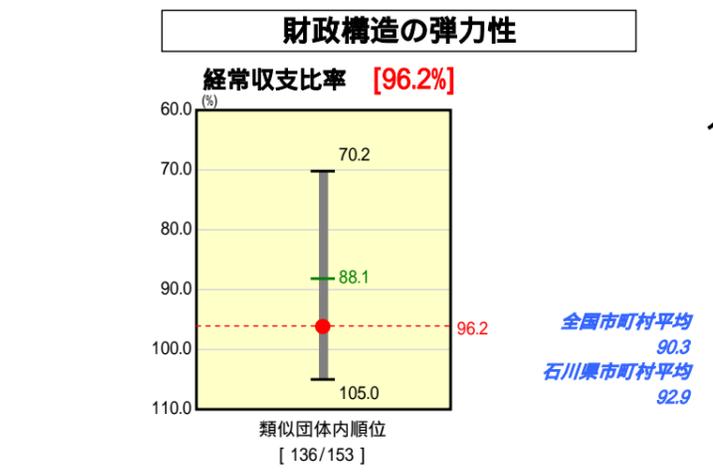
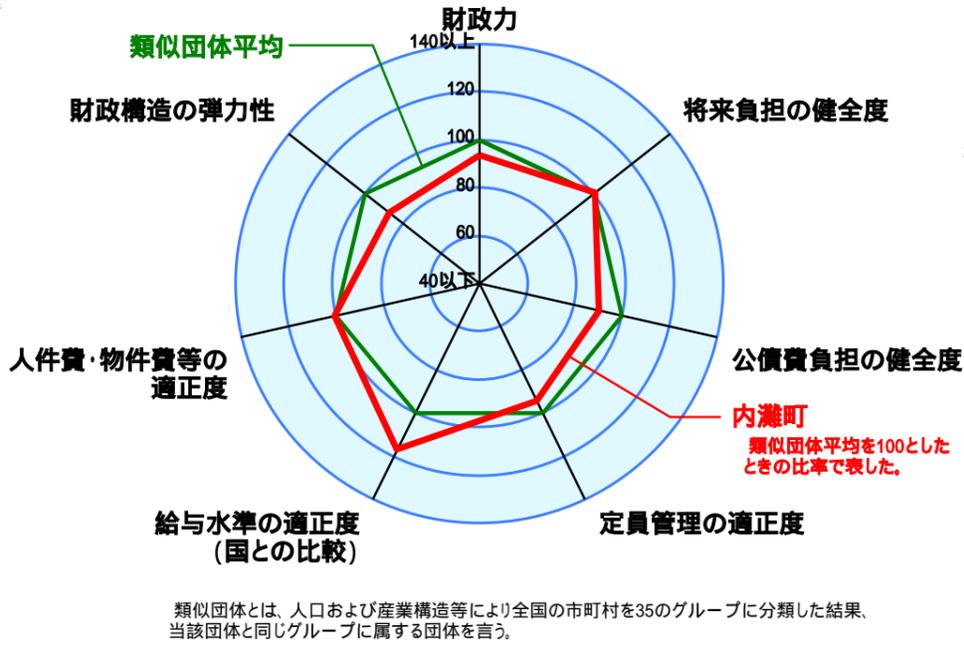
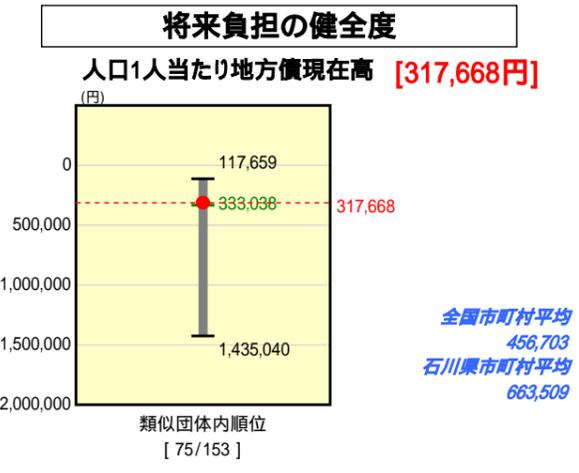
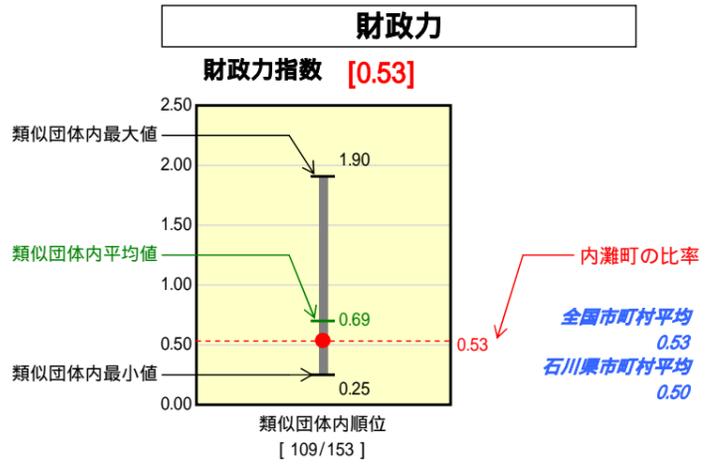


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

石川県 内灘町

人口	26,835人	(H19.3.31現在)
面積	20.38	km ²
歳入総額	8,889,690	千円
歳出総額	8,737,175	千円
実質収支	86,302	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

・財政力指数
: 税源移譲により税収は伸びているが、公債費等の需要額も増加し財政力指数の改善には至っていない。今後も行政経費の削減、税収の確保等図っていく必要がある。

・経常収支比率
: 経常一般財源収入の伸びが期待できない一方、経常経費などが増加した結果、経常収支比率は対前年度比6.0%と大幅に悪化した。収入に見合った歳出額となるよう、経常経費の削減が不可欠となっている。

・人口1人当たり人件費・物件費
: 全国平均と比較で特に悪いわけではないが、事務事業を見直し民間委託により物件費を削減し、経常収支比率の改善を図る。

・ラスパイレス指数
: 類似団体平均との比較で低い水準にある。今後も適正な給与水準の維持に努める。

・人口1人当たり地方債現在高・実質公債費比率
: 普通会計における人口1人当たりの地方債残高は平均並だが、実質公債費比率は高めの水準となっている。これは広域事務組合での建設事業負担金や公共下水道事業での公債費負担に起因している。今後、大きな投資的事業は学校関係の改築工事等を予定しているが、それ以外の事業については厳選し町債発行額を抑える。

・人口1,000人当たり職員数
: 全国平均との比較ではやや多いが、人口1,000人あたりの正規職員数では7.03人となる。これは嘱託職員の勤務体系が原因であるため早急に勤務体系の見直しを図る。また事務事業を見直し、民間委託を進め、仕事の効率化、また職員の勤務体系・組織の見直しを図り職員数の適正化に努める。